

宝木市営住宅団地の再生計画は？

城山・宝木の皆さん、市議員団とともに市と懇談



市住宅課と懇談する市議員団と地元の皆さん

市住宅課の基本方針の説明によれば、増やさず大規模造らず柔軟にというものでした。要は管理戸数の計画的見直しを行いネットワーク型コンパクトシティの形成のための再編、整備を図る。直接建設を縮減し民間空き家活用に移行するというものです。

具体的には、老朽化した二階建て住棟（十七〜四四号棟）（五〇〜五九号棟）の除去、耐震補強工事の実施（一〜十号棟）、順次必要な住戸改善（バリアフリー化等）の実施を検討、

四五〜四九号棟については現状維持、というものでした。スケジュール的には住民説明ののち今年度から住居移転をしていくというもので不安を感じている住民への早期の丁寧な説明が必要と要望しました。

新築、建て替えはなし!!

結局新しく建て直すという計画はなく耐震化工事が必要な棟には実施しまだまだこのまま活用していくということでした。

参加者からは、住宅改修した場合の家賃の問題や若年世帯向けの間取りも考えて入居者を増やす努力も必要などの意見がだされました。

駒生町在住でもある天谷美恵子党市医療・福祉対策委員長は、「現在の入居者は高齢者が圧倒的で、引越すことも困難です。現在住んでいる方達が、安心して住みつづけられるよう最大限の配慮が必要です」と述べています。

宇都宮民報

発行
日本共産党
宇都宮市委員会
弥生1丁目7-11
旭コーポ1階
634-8722

日本共産党発行



納税者として黙っておれない!

佐川国税庁長官は真実を!!



確定申告初日の16日、宇都宮市の市民有志は、森友学園疑惑をめぐり「佐川国税庁長官を罷免させよう」と、緊急の抗議行動に取り組みました。抗議行動を呼びかけた税理士の石川輝雄氏（77）は、「納税者として怒りがこみ上げじつといていられない。8億円が値引きされた証拠は、十分すぎるほど出てきた。罷免を求めたい」と訴えました。

抗議行動には、日本共産党の荒川つねお・福田くみ子両市議、天谷美恵子党市医療・福祉対策委員長、社民党の宇賀神文雄市議も参加し、次々とマイクを握りました。参加者は、佐川氏の証人喚問を求める手作りのプラスターなどを掲げ、宇都宮東武北口と、宇都宮税務署前で、訴えを行いました。



手作りのプラスターでアピールする参加者の皆さん（しんぶん赤旗2月17日付）

早咲きの河津桜も開花!! (城址公園)



日本共産党宇都宮市議員団
定例無料

市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅
道路・交通安全・その他なんでも・・・

日時 4月14日(土) 午後2～4時
5月12日(土)

会場 宇都宮市総合コミュニティセンター

連絡先 日中 TEL632-2622 (党市議員団控室)

土・日・夜間 TEL634-8722 (党市委員会)

相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。

秘密厳守します。弁護士が協力します。

安倍9条改憲 市長の政治姿勢を問う

荒川つねお議員 代表質問から



3月定例会、荒川つねお議員が5日に代表質問を行いました。その中から、紹介します。(要旨)

安倍政治による 憲法9条改憲問題 アベノミクス 社会保障改悪の3点について、佐藤市長の政治姿勢と見解を質しました。

憲法9条をめくって

荒川つねお議員

この2018年は、憲法をめくりかつてないせめぎ合いの年となっている。安倍政治は「憲法9条に自衛隊を書きこむ」改憲案を発議、国民投票に持ち込み、

20年には施行しようとしている。

もし、これが実現すれば「戦力の不保持や交戦権の否認などの規定の空文化」「死文化に道を開き海外での武力行使が無制限、戦争する国になる。憲法が生まれて71年。まさに、憲法9条は、日本が平和国家として発展・繁栄してきた礎であり、世界に誇るべき世界の宝である。

私は、憲法と共に生まれ育った世代として、この年を絶対に改憲に踏み出した年にはさせない決意である。

ついでに、市長は、安倍首相による、自衛隊を9条に明記する憲法改正の発議に対し是認する立場か、しない立場なのか見解を。

佐藤栄一市長

戦争の放棄や戦力不保持を定めた憲法9条の改正につきましては、我が国の防衛・安全保障に関わる大変重要なことから、引き続き国政の場において様々な角度から十分な議論を尽くすとともに、国民に対し、分かりやすい説明を継続しながら理解を深めていくことが必要と考える。

佐賀

自衛隊ヘリ墜落

市民の安全、快適な暮らしと本市の自衛隊基地をめぐって

めぐって

荒川つねお議員

本年2月、佐賀県で自衛隊ヘリが民家直撃の墜落をした。

この間、米軍ヘリの事故が沖縄県で相次ぎ、自衛隊ヘリ事故も全国で頻発している。

住宅密集地に包囲された北宇都宮駐屯地附近の住民として、今回の事故は他所事ではない。

ヘリ年間離発着回数は、墜落した佐賀の駐屯地の倍の2万4785回、早朝夜間飛行も多い月で9日間、年800回に及ぶ。駐屯地開設43周年には、今回事故機と同型のAH64Dも参加していた。北宇都宮駐屯地所属ヘリ同型機も事故を起こしている。今や宇都宮市民に同じことが起きないとは誰も言えない。

そこで、佐賀での自衛隊ヘリ墜落事故を受け、市民の安全を守る立場から、自衛隊に対し、どの様な対応を行ったのか。

他所事ではない！

また、住宅密集地上空での夜間飛行の中止や自衛隊航空学校の撤去も含めた飛行回数削減等北宇都宮駐屯地の訓練・運用のあり方の見直しについて協議をする時が来ていると思うが、どうか。

行政経営部長

墜落事故発生を受け、2月

市議会初傍聴記

初めて市議会の傍聴を体験した。

荒川議員の質問はよく練られていてわかりやすかった。思わず「そつだ！」と声のでそうになったが、注意書きを思い出してグツとこらえた。質問に対して各部長さんが出てきて答えるのだが、議長に対して一様にかなり丁寧な挨拶をしていて驚かされた。

国民健康保険税の滞納者がかなりの数に上っており病気になるまでも医者にかかれない現実がある

9日に防衛省栃木地方協力本部長に対し「飛行点検の実施にあたっては、市民の安全を図るため、最大限の注意を払うなど十分な安全対策を講じること」を速やかに要望した。

基地の訓練・運用のあり方は国において検討されるべきだが、市民が安心して快適な生活が送れるよう騒音・安全対策に係る要望を今後とも継続的に行ってゆく。

こと。健康格差が広がっている状況を何とかしなくては。という荒川議員の思いが伝わってきた。

し尿汲み取り業務の合理化問題についても、長年大変な業務に携わって下さった業者の皆さんに寄り沿った質問だった。また自衛隊の基地問題では、北宇都宮駐屯地を抱える市として住民の安全を最優先に考えて欲しいという市民の願いを代弁するもので、感動した。

次回は、他の会派議員の質問も是非聞いてみたいと思った。

(天谷美恵子党市医療・福祉対策委員長)